

# 檀信徒研修会にご参加を

来る、十一月二十七日(日曜日)午後二時から、私たちの宗派、真言宗豊山派群馬県東部宗務支所(伊勢崎・桐生・太田地区)二十九ヶ寺の檀信徒を中心とした、『檀信徒研修会』が、やぶつか温泉ふせじま館で開催されます。

現在、群馬県東部地区の檀信徒総代長には、常楽寺総代長の糸井武男氏が就任しています。これは、四年前から真言宗豊山派群馬県東部支所長を、常楽寺住職本城亮俊が就任しているためで、支所長の寺の総代長が、地域全檀信徒を代表する総代長となっているのです。

# 客殿の屋根がなりました。

三月十一日に発生した大地震では、東北地方を始め東日本全域にわたって未曾有の大災害に見舞われ、その上「東京電力福島原子力発電所の事故」で、現地では、まだまだ復旧の先も見えない困難な状態が続いていますが、皆さんのご家庭やご身内の方々はいかがでしょうか。寺でも、先にお知らせしたように、境内石造物や墓地の石碑・灯籠の倒伏をはじめ、屋根瓦のずれ落ち、本堂内の仏像の破損損傷など大きな被害をもたらしました。

石造物や灯籠などは、倒伏が中心で大きな壊れも無く、元のように修理修復が進み

過去、平成二十年と

二十一年には『檀信徒研修会』を実施してきました。

本年は、別紙チラシにも有りますように、

『お大師様の「一代記」を、独特な節回しで語る節談説法を、「この道の第一人者である、新潟県燕市 本覚院」住職 渋谷隆阿僧正に語っていただきます。

どなたでも参加できます。費用は宗派とそれぞれの寺で負担いたします。参加希望の方は、準備の都合もありますので、別紙チラシの下にある檀信徒研修会参加申込み書に、氏名を書いて最寄の役員さんか、寺の方へ、十一月十日(木曜日)までに提出してください。お待ちしております。

特別  
だより  
23.10.15

ましたが、客殿の屋根瓦の修復は、各地で大きな被害が出て、修復に職人の手が間に合わず、応急的な修復だけで、完全な修復が出来ていませんでした。

先週、修復の順番が来て、やっと修復工事が完了しました。地震直後に応急処置をしていたいたので、雨もりの心配は無かったです。大きな費用がかかりましたが、完全に修復できてひと安心です。

「本尊の修復は、まだ二年ほど先になりますが、平安時代お大師様が活躍されておられた頃より、檀徒の皆さんが守り通してこられたご仏像だと思つと、何とかしなければと思います。